



Söktaş & Salvatore Piccolo

ナポリの名職人からも指名を受け
新たなシャツが誕生

ソクタスの新しいカプセルコレクションは、ナポリのシャツデザイナー、Salvatore Piccolo(サルヴァトーレ・ピッコロ)氏によるもの。当初このコラボレーションには多くの驚きで受け止められたが、Piccolo氏とソクタスのマーケティングディレクターのBaran Kayhan (バラン・カイハン) にとっては、自然に進められた。『ナポリからMeander Valleyに続く歴史的な地理には、共通の伝統的文化があります。我々は地中海の歴史の中で、エレガントなディテールや洗練された職人技、そして色彩など結びつきが強いのです』とBaranは話す。今シーズンのコレクションは、シャツ、ジャケット、パンツにわたり、リラックスしたエレガンスをコーディネートするルックが特徴だ。

ISETAN MEN'S

伊勢丹新宿店メンズ館、日本橋三越本店、
銀座三越のオーダーシャツでも人気

Meander ValleyからネーミングされたMeander 71クオリティは、三越伊勢丹のオーダーシャツ企画にオリジナルの素材を提供している。ソクタスの土地で生まれた綿花は、専門の職人の手によって丁寧に栽培され、自社栽培によるソフトでエレガントな素材は、三越伊勢丹でのトップクオリティのシャツに生まれ変わる。三越伊勢丹で展開しているMeander71はすべて、オリジナルファブリックとしてデザイン・カラーが企画されているものだ。



トルコ発の実力派シャツファブリック
ソクタスが世界中から注目されるワケ

History

Muzaffer Kayhan (ムザファー・カイハン) 氏が1971年にトルコ西部の海外沿いの町にシャツ素材工場としてソクタスを設立した時、彼はただ一つ、『最良のものだけを生産する』ことを決めた。そして、彼の息子から孫の代になっても常に同じ哲学で会社は運営されている。コットンの素材メーカーとして、過去何世紀にも遡ってルーツを持つKayhanファミリーは、ソクタスブランドを世界中のトップブランドのシャツに、静かに、しかし大きく浸透させてきた。最近の発見で世界最初の織物は、紀元前7000年のトルコで発見されたが、それは日々歴史や伝統からインスピレーションを得ているソクタスにとっては、驚くべきことではなかった。ソクタスは、種子の段階から素晴らしい生地になるまでの過程に、常に献身的に細心の注意を払っている。



ソクタスはトルコ西部で生産を行うコットンシャツ素材メーカー。世界中の著名ブランドやビスポークテラーに供給され、素晴らしいクオリティのシャツを生み出している。ソクタスは毎シーズン、クラシックシャツの“Signature”、カジュアルやキムムの“Varsity & Urban Blues”、そして環境に配慮したオーガニックな“eco-logic”、この3つのコレクションを展開する。ソクタスは、様々なディテールの中にオーセンティックな手法を取り入れている。彼らはこれを“Understated Elegance”と呼び、製品やプレゼンテーション、そして代々続くクラフトマンシップを通じて表現している。なかでも原綿から紡績まで一貫して生産されるハイクオリティの超長綿「Meander 71」は、ソクタスの最も重要なクオリティのひとつで世界中から称賛を受けている。トルコ Cotton Research Instituteと共同開発したオリジナルの品種を自社の畑で栽培。これはトルコで最初に開発された超張綿で、今までにないシルクタッチのクオリティを実現した。生産過程、栽培から紡績、生産、仕上げすべての過程を自社にて完全にコントロールするソクタス。ぜひその至極の着心地を味わってほしい。